

THE ULiCS TIMES

ビブリオバトル開催報告特別号

ビブリオバトル開催

2023年10月19日、神戸大学自然科学系図書館4階イノベーションスタジオにて全国大学ビブリオバトル予選会が行われた。バトルの正式名称は「全国大学ビブリオバトル関西Bブロック予選会」。ブロック予選会を勝ち上がった者は、ブロック決戦会、そして本戦へと進むことができる。今回ULiCSはブロック予選会の主催団体としてバトルを企画・運営した。ULiCSがブロック予選会を主催するのは2019年以来4年ぶりとなる。



▲（左）プレゼンテーションの様子。（右）投票の時間。多数決でチャンプ本が決定した。

バトルには、学内外から4名の発表参加者が出場した。まずはお気に入りの本を携えて、スクリーンをバックに5分間のプレゼンテーションを行った。視聴参加者は堂々とした発表に聞き入っていた。次に、3分間のディスカッションタイムがスタートする。この時間は視聴参加者からの質問に答えるための時間だ。20名を超える視聴参加者から質問され、発表参加者は細かなところまで本の魅力を語った。4名が順に発表を行ったが、文豪の文学作品、現代小説、ミステリ、そして伝記と、紹介された本は多岐にわたる。全てのプレゼンテーション、ディスカッションが終わるといよいよ投票の時間だ。今回見事「最も読みたくなった本（チャンプ本）」に選ばれたのは、下村敦史『同姓同名』だ。SNS、誹謗中傷、犯罪とセンセーショナルなテーマ、そしてやはりインパクトのある発表が人気を博した。同書は2023年12月に開催された首都決戦のグランドチャンプ本にも選出された。参加して下さったみなさんには厚く御礼申し上げたい。

ULiCSとしては、SNS広報に力を入れたイベント企画だった。2023年春から運営を始めたLINE公式アカウントをはじめ、X（旧Twitter）、図書館ホームページ、うりぼーポータル等の複数媒体で参加者を募集した。特にXでは、バトル開催1週間前から「いいね&RTキャンペーン」を開催し、新しい広報方法の可能性が見出された。「いいね&RTキャンペーン」は、特定の投稿に対して、「いいね」またはリポストの件数が一定以上を満たした場合に特別な投稿を約束するキャンペーンである。今回は20いいねまたは10リポストを達成条件とし、実際にマスコットキャラクター「うりこ」の動画を投稿した。知名度向上に腐心するULiCSとしては、大きな一歩であったといえよう（2023年12月8日現在21いいね16リポスト）。キャンペーンにご協力いただいた方に感謝したい。

2024年1月19日発行
神戸大学附属図書館学生チームULiCS



<https://lib.kobe-u.ac.jp/about/ulics/>
@ULiCS_KobeU_Lib

ULiCS 検索